

Rename.hs

はじめに

このモジュールは、Parser の出力する抽象構文 (Absyn) を変換して、型推論可能な形にする。主な仕事は以下の通り：

- 結合性の解決 (fixity resolution)
- 変数のリネーミング (α 変換)
- 脱糖 (desugar)
- パターンマッチの変換 (これは脱糖の一種ともいえる)
- 型やクラス、データ宣言の処理

これらのうち、2020 年 4 月時点では、最初の 4 項についてはほぼ実装済みだが、最後の「型やクラス宣言の処理」については、ごく一部しか実装できていない。これらを実装していきながら、この記事を書いていくことにする。

※ 脱糖のうち、ごくいちぶ (Typing に合わせるためのもの) は、Rename で、パターンマッチ変換などは、TrCore で実施している。

Tickets (または todo)

renSigdoc (A.Tycon n) のハードコーディングをなおす

issued: 2020-04-05

renSigdoc (A.Tycon n) のハードコーディングをなおすには、定義済の型コンストラクタから型への辞書を持つ必要がある。ユーザ定義型の型宣言に対応するには、それに先立ってやっておく必要あり

sigdoc1.hs が Variable not found になる

issued: 2020-04-05

型宣言がリネームをみだしている模様。